

## 産業建設委員協議会記録

開会年月日	令和7年1月27日
開会時刻	午後2時19分
閉会時刻	午後2時39分
出席委員名	◎品川幸久 ○久保 真 上村和生 鈴木豊司
	野口佳子 福井輝夫 宿 典泰
	浜口和久 議長
欠席委員名	なし
署名者	—
担当書記	森田晃司
協議案件	1 国土交通省による「上下水道施設の耐震化状況に関する緊急点検結果」における本市の上下水道管の耐震化状況について《報告案件》
説明員	上下水道部長、上下水道部次長、上水道課副参事、その他関係参与

## 協議経過

品川委員長が開会を宣告し、会議成立宣言の後、直ちに会議に入り、「国土交通省による「上下水道施設の耐震化状況に関する緊急点検結果」における本市の上下水道管の耐震化状況について《報告案件》」を協議し、協議会を閉会した。

なお、詳細は以下のとおり。

開会 午後2時19分

### ◎品川幸久委員長

ただいまから産業建設委員協議会を開会いたします。

本日の出席者は全員でありますので、会議は成立をしております。

本日御協議願います案件は報告案件として、「国土交通省による「上下水道施設の耐震化状況に関する緊急点検結果」における本市の上下水道管の耐震化状況について」であります。

議事の進め方につきましては、委員長に御一任願いたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

### ◎品川幸久委員長

御異議なしと認めます。そのように取り計らいをさせていただきます。

**【国土交通省による「上下水道施設の耐震化状況に関する緊急点検結果」における本市の上下水道管の耐震化状況について《報告案件》】**

### ◎品川幸久委員長

それでは、報告案件の「国土交通省による「上下水道施設の耐震化状況に関する緊急点検結果」における本市の上下水道管の耐震化状況について」当局から報告をお願いいたします。

上下水道部長。

### ●成川上下水道部長

本日は御多用の中、産業建設委員会に引き続き、産業建設委員協議会を開催いただきまして誠にありがとうございます。

本日の案件は、ただいま委員長から御案内がありましたとおり、「国土交通省による「上下水道施設の耐震化状況に関する緊急点検結果」における本市の上下水道管の耐震化状況について」の報告案件が1件でございます。

詳細につきましては、担当のほうから御説明申し上げますので、よろしく申し上げます。

### ◎品川幸久委員長

上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

それでは、「国土交通省による「上下水道施設の耐震化状況に関する緊急点検結果」における本市の上下水道管の耐震化状況について」、御報告申し上げます。

資料1-1ページを御覧ください。

1つ目の「緊急点検の背景」についてです。

上下水道は国民の生命や暮らしを支える重要なインフラであり、令和6年能登半島地震では、上下水道システムの耐震化の重要性が改めて明らかとなりました。このことから国土交通省は全国の下水道管理者と水道事業者等に対し、重要な施設に接続する上下水道の管路等の耐震化状況の緊急点検を実施しました。

続きまして、2つ目の「緊急点検の対象となる重要施設」についてです。

国土交通省の緊急点検の対象となる重要施設は、地域防災計画に位置づけられている市役所や病院など、災害時に上下水道の機能の確保が特に必要な施設を下水道事業者と水道事業者等で調整の上、選定するとされており、調査の対象施設は令和11年度までに整備を進める施設となっています。

本市はこれらの条件から地域防災計画に指定されている活動拠点、医療機関など94施設の中から、上下水道区域内にある上下水道の機能確保が必要な施設で、5年以内に整備を行う活動拠点3施設と医療機関4施設の合計7施設を抽出しております。

続きまして、3つ目の「上下水道施設の耐震化の緊急点検結果」についてです。

令和5年度末時点の重要施設に接続する上水道の管路の耐震適合率は、先ほど申し上げました活動拠点と医療機関の7施設を対象とした割合で80%となっており、重要施設に接続する下水道の管路の耐震化率は97%となっております。また、上水道と下水道の両方が全て耐震化されている重要施設の割合はゼロ%となっております。

資料1-2ページを御覧ください。

4つ目の「伊勢市全体の耐震化状況」についてです。

令和5年度末における上水道の耐震適合率は23.8%で、そのうち基幹管路の耐震適合率は全国平均42.3%に対し、48.1%となっております。また、下水道の耐震化率は79.7%となっております。

以上、「国土交通省による「上下水道施設の耐震化状況に関する緊急点検結果」における本市の上下水道管の耐震化状況について」、御報告申し上げます。

今後も上下水道施設の耐震化につきましては、計画的に進めてまいりたいと考えておりますので、よろしく御願い申し上げます。

◎品川幸久委員長

ただいまの説明に対して御発言はありませんか。

鈴木委員。

○鈴木豊司委員

ちょっと2つ教えてほしいんですが、この重要施設の部分で、活動拠点が3施設と医療機関4施設ということなんですが、この医療機関につきましては、救急告示医療機関と人

工透析医療機関があるということなのですが、この4つの施設はどちらの区分に入るのか教えていただけませんか。

◎品川幸久委員長  
上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

まず、救急告示医療機関につきましては、ひかり病院、田中病院、伊勢病院、日赤がございまして、人工透析医療機関はひかり病院、田中病院、伊勢病院、日赤、ハートクリニック福井、腎クリニックとなっております、今回の施設につきましては、全てが人工透析医療機関に属する医療機関となっております。以上でございます。

◎品川幸久委員長  
鈴木委員。

○鈴木豊司委員

先ほど少し出ていたんですが、重要施設に伊勢日赤、赤十字病院ですか、それが含まれてないということと、あともう1点、活動拠点の中に防災センターが重要施設に入っていないんですけど、その辺はどう考えたらよろしいんですか。

◎品川幸久委員長  
上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

伊勢赤十字病院につきましては、今回の緊急点検の対象が下水道区域内と、上下水道の区域内であるということでございまして、伊勢赤十字病院に関しましては下水道区域外となりますので除外となります。

防災センターにつきましては、下水道のほうの整備地域のほうがまだ不確定でございましたので、今回の調査のところからは外しております。以上でございます。

◎品川幸久委員長  
鈴木委員。

○鈴木豊司委員

もう一点すみません。3番のところなのですが、耐震化の適合率、上水道が80%、下水道が97%ということで、非常に高い数字でこの分を評価せないかんのかなというふうに思うんですが、上下水道の双方の部分がゼロ%ということなのですが、ちょっと考えにくいんですが、これはもう上下水道の分は100かゼロかという考え方でいいんですか。

◎品川幸久委員長

上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

これは今回対象としております7施設について、水道の施設に関しましては耐震化が全て、その施設まで、配水地から重要施設までの管路の耐震化が100%できておるといところにつきましてはゼロ施設となっております。

下水道に関しましては、7施設のうち6施設が耐震化されている状況でございます。今回ゼロ%となっておりますのは、水道、下水道とも耐震化されている重要施設ということになりますのでゼロ%ということになります。以上でございます。

◎品川幸久委員長

上下水道部長。

●成川上下水道部長

ちょっとすみません。説明がうまくいきませんでした。申し訳ありません。

このゼロ%というのは7施設、それぞれ1施設ごとに上下水道管とも耐震ができていれば1つの施設としてカウントするということになるんですけども、例えば、水道の場合ですと、年次的に7ルートを順次整備をしておるんですけども、全てがまだ整備がし切れていないとなりますと、それは全て耐震ができた施設としてはゼロということになりますものでゼロ%と、順次、そのルートを年次的に耐震化を進めている。それを水道施設だけで言えば80%、距離として、ちょっと注釈で入れさせていただいておりますけど、米印の2番、15.6キロメートルの延長のうち12.43キロメートルまでは進んでいると、その延長ベースで80%ということになるんですけども、一番下の上下水道のゼロ%というのは、一つ一つの施設が100%できとったら初めて1カウントできるということでもありますので、完了している施設がまだないということで、ゼロということで御理解いただきたいと思ます。

すみません、きちんとできなくて申し訳ございません。

◎品川幸久委員長

鈴木委員。

○鈴木豊司委員

要は両方とも耐震化されないとカウントされない、これもうゼロか100かということいいんですね。

◎品川幸久委員長

上下水道部長。

●成川上下水道部長

そのとおりでございます。

◎品川幸久委員長

他に御発言はありませんか。  
宿委員。

○宿典泰委員

ゼロ％は聞いていただいたので、よく分かりました。  
それと94施設の中の7施設を抽出したというのは何か理由があるんですか。

◎品川幸久委員長

上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

94施設から7施設までには段階的に抽出をしております。

まず、地域防災計画などに指定されております活動拠点、医療機関、指定避難所の合計がまず94施設となります。

その中から上下水道区域内ということに絞りますと、これが68施設となります。

その次に、特に重要な施設ということで、災害対応の拠点となるところの活動拠点と人命に関わる病院などにつきましては特に重要な施設であると考えました。こうしますと、活動拠点、医療機関で合計16施設となります。

その次に、5年以内に整備を進める施設ということになりますと、活動拠点につきましては、災害対策本部機能を有する施設ということに絞りますと、合計7施設となっております。以上でございます。

◎品川幸久委員長

宿委員。

○宿典泰委員

そうしますと地域防災計画が基になつとるということでお聞きをしたんですけど、地域防災計画の何ページにそのあたりの施設名とか、94施設のことが出ておるのかちょっと教えてください。

◎品川幸久委員長

上水道課副参事。

●服部上水道課副参事

まず、活動拠点につきましては、災害対策本部の関係でございますと35ページに掲載されております。

あと、受援の拠点としまして、アリーナでありますとか、県庁舎でありますとか、倉田山公園等につきましては124ページに掲載されております。

あと、物資拠点であります市場につきましては146ページに掲載されておりました、あと、ごみ処理施設の広域清掃につきましては171ページに掲載されております。

避難誘導の関係の警察につきましては135ページに掲載されております。

あと、参集場所であるところにつきましては、地域防災計画のほうへは記載はないんですけれども、地震時の参集体制などということで、地震時の参集体制は業務継続計画の中に入っております。

あと、指定避難場所のほうですけれども、災害時の指定避難場所のうち指定避難所に当たりますところは、74ページから82ページに掲載されておりました、福祉避難所の指定避難所につきましては83ページに掲載されております。

あと、医療機関の人工透析医療機関につきましては558ページと559ページに掲載されております。

あと、救急告示の医療機関につきましては558ページに掲載されております。以上でございます。

◎品川幸久委員長  
宿委員。

○宿典泰委員

3の伊勢市は上水道の耐震化が80%ということですのでけれども、これも94施設の中の7施設でいくと80%ということをお聞きしました。

県内と全国は、これは何施設のうちにできるとというのが26%ということになるんですか、全国もそうですけど。

◎品川幸久委員長  
暫時休憩いたします。

休憩 午後 2 時34分

再開 午後 2 時36分

◎品川幸久委員長  
休憩を閉じ会議を続けます。  
上下水道部次長。

●倉野上下水道部次長

すみません、失礼いたしました。

まず、全国でいきますと、2万4,974施設が分母になります。それに対して、既に済んでいるところが3,649施設というような結果が報告の中で挙げられております。

対象となる施設なんですけども、これ各市町で非常に結果的なんですけど、ばらばらになっております。

例えば、三重県下でいきますと、私どものように避難所のほうは対象から外していると

ころもありますし、避難所の中でも、特に収容人員が多いところとか、そういったところを対象にしている市もみえます。だから、これは非常にばらばらな結果になっておるとい  
うのが率直な感想でございます。以上でございます。

◎品川幸久委員長  
宿委員。

○宿典泰委員

内容は分かりました。結局、私申し上げたいのは伊勢市も80%といえども、7施設の分  
だけやということなので、後をどのように進行管理していくかということがこれからの  
課題になってくるかと思うんですけど、県内やら全国のほうも、今お答えをいただいた  
ように抽出してくる施設が違うということで、これは国交省のほうもそういう形のもので  
よかったのかなと思いつつ首をかしげるんですけど、進捗の在り方について  
どのような形になるんでしょう。やっぱり94施設をきちっと上下水道、この耐震化に向け  
てということになると思うんですけど、そのあたりだけお聞かせをください。

◎品川幸久委員長  
上下水道部次長。

●倉野上下水道部次長

今おっしゃられたとおりだと考えております。もちろん7施設だけを対象にするのでは  
なくて、94施設等、それからまたそのほかにも必要な施設も関係部局と調整しながら、全  
体についての重要施設の耐震化について進めてまいりたいと思いますのでよろしくお願  
いいたします。

○宿典泰委員  
ありがとう。

◎品川幸久委員長  
他に御発言はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

◎品川幸久委員長

ないようですので本件についてはこの程度で終わります。

以上で本日御協議願います案件は終わりましたので、これをもちまして産業建設委員協  
議会を閉会をいたします。

閉会 午後2時39分